

令和5年度
事業報告(案)

社会福祉法人白老宏友会
指定特定相談支援事業所「ゆから」

1 はじめに

令和5年度「ゆから」の相談支援利用者数は3/31時点で131名（前年127件）。法人関係利用者が116名、他事業所利用者が14名、在宅者が2名の計画相談を実施してきた。当法人GH利用者を苫小牧市の相談支援事業所より新規で5件引き継いだ。施設行政区移動による1件の契約減があった。

事業所の移動（在宅から「つなぐプラス」就労B）につなげた調整業務や、サービス利用内容の変更（短期入所日数を7日/月から14日/月に増、緊急対応での短期入所導入から共同生活援助へつなげるサービス調整等）について対応支援を行った。

福祉サービスの支援方法や目標、利用者保護者のご意向、支援者の意見等についてまとめ、障がい者自身が望む自立した社会生活を営むことができることを目的として、本人に合った適切なサービス利用ができるよう計画相談を実施してきた。

関係会議等については「胆振圏域地域生活拠点等連絡協議会講演会」及び「白老町高齢者等虐待防止研修会」に参加し地域福祉情勢の状況など情報収集を行った。

2 計画相談作成件数

<利用状況>

ゆから			
	サービス計画(新規・更新)	継続計画(モニタリング)	合計
4月	3件	14件	17件
5月	5件	16件	21件
6月	2件	17件	19件
7月	4件	26件	30件
8月	6件	28件	34件
9月	5件	25件	30件
10月	6件	12件	18件
11月	9件	11件	20件
12月	1件	18件	19件
1月	2件	28件	30件
2月	18件	17件	35件
3月	8件	23件	31件
計	69 (R4・67)	235 (R4・238)	304 (R4・305)

新規・更新：R5・法人内- 62件、法人外-7件（R4・法人内-57件、法人外-10件）

継続(モニタリング)：R5・法人内-195件、法人外-40件（R4・法人内-209件、法人外-29件）

<行政機関別件数>

- ・白老町 64名・室蘭市 14名・登別市 15名・苫小牧市 20名
- ・千歳市 2名・江別市 2名・伊達市 1名・函館市 1名・三笠市 1名
- ・浦河町 1名 ・札幌市西区 3名・札幌白石区 2名・札幌清田区 2名
- ・札幌北区 1名・札幌東区 1名・札幌南区 1名 （全 131名）

<事業所等別件数>

- ・法人関係利用者 116名
- ・法人外利用者 15名
(フロンティア 6名、北海道リハビリテーションセンター 3名、かしわぎ園 2名、ファミリー 2名、在宅者 2名)

3 事業の実施

利用者の意思及び人格を尊重し、常に当該利用者の立場に立って、提供される福祉サービス等が特定の種類または特定の福祉サービス事業等を行う者に不当に偏ることのないように行ってきた。自ら提供する指定特定相談支援の評価を行い、必要により改善を図ってきた

計画相談策定にあたり訪問が難しい場面では、電話や文書等での状況確認などにより利用者家族・支援者等との聞き取り情報共有により計画相談業務を行った。

4 スキルアップ及び地域圏域との情報交流

- (1) 「西胆振圏域地域生活拠点等連絡協議会講演会」に参加し地域福祉状況の情報収集などを行った。「白老町高齢者等虐待防止研修会」に参加し事業所職員として利用者に向き合う部分の研修研鑽を行った。
- (2) 白老町自立支援協議会相談支援部会の実施については自粛され、文書や電話連絡・通信等により福祉資源の活用・統計確認・課題の抽出など情報交換を行った。